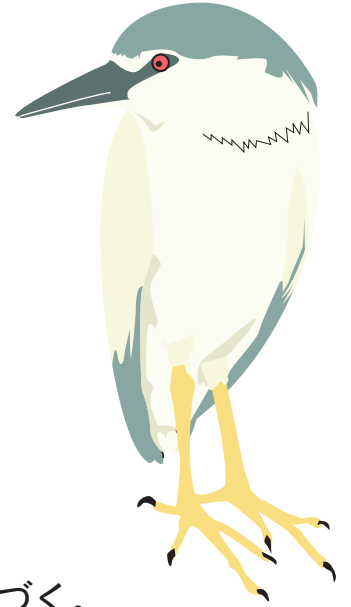


ともだちの石

学校近くの河原で石を観察する



- 時間 30分～1時間
- 対象 幼児～大人
- 場所 河原、湖畔
- 人数 5人（1セット）
- 季節 いつでも
- 用具 4メートルのひも

ねらい

河原の石の特徴を知る。石の持つ属性に気づく。

導入

- ①自分の石（ともだちの石）を1つ拾う。（心惹かれる石など）
- ②その石の大きさや色や形、模様、拾った理由などをみんなに発表し見せる。

展開

- ①3人一組になって、ロープで1m四方の四角形区をつくる。
- ②自分の「ともだちの石」と同じ種類の石をいくつか拾い集めて、いろいろな順番に並べてみる（大きい順、形丸い順、色の濃い順など）。
- ③自分の石と他の人の石を比べてみる。

まとめ

- ①自分の石の特徴を発表しよう。
- ②グループごとに発表し、河原の石の特徴について話し合う。

色がきれいなので
拾いました



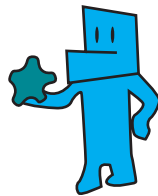
ふ～ん



ほほう



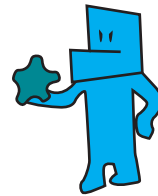
形がおもしろいので
拾いました。



こっちの方が
いいね。



こっちの方が
珍しいよ。



そこ、けんかしない。

実施のポイント

- 石の種類を知るのではなく、それぞれの石が持つ特徴の違いに気づくことに焦点を当てたい。

発展

- 場所を変えて「友達の石」をさがしてみる。それによって上流から下流へかけての河原の石の変化についての学習へつなげることができる。